

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	582 文化財保護保存					
総合計画	めざますまの姿	7	歴史・伝統・文化を生かした次世代に継承するまち			担当部	教育委員会事務局
	基本計画【施策】	7-①歴史の保存と継承				担当課	スポーツ・文化課
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項 社会教育費
	06	目	文化振興費				
	予算事業名	基本事業 (事業1)	文化財保護保存費			細事業名 (事業2)	文化財保護保存
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の団体	指定文化財の所有者
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-		
事業の目的	市内の文化財保護及び保存を図り、優れた歴史文化遺産を後世に伝承する。						
事業の概要	①指定文化財保存修理補助 ②無形民俗文化財保存伝承補助 ③指定文化財管理事業						

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①指定文化財保存修理補助 応賢寺不動明王立像保存修理、防災設備管理、市指定史跡「風炉の井」・「火防樹」の管理を行った。 ②市指定無形民俗文化財保存伝承費補助 新居町細工花火保存会、猿田彦煙火保存会、橋本大般若経お経守保存会、遠州新居手筒花火保存会、大倉戸チャンチャコチャン保存会に保存伝承費補助を行った。							
課題	補助事業に係る年次計画と予算の確保が課題。							
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	事業費 (A)	当初予算額	4,172	千円	1,917	千円	7,622	千円
		決算 (見込) 額	4,119	千円	1,890	千円		千円
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	161	千円	0	千円		千円
		一般財源	3,958	千円	1,890	千円	7,622	千円
	人件費 (B)		6,007	千円	7,460	千円	4,946	千円
	人工 (職員数の内訳)		0.82	人	1.03	人	0.68	人
トータルコスト (A) + (B)		10,126	千円	9,350	千円	12,568	千円	
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	文化財補助金交付件数	件	目標		11	13	10	
			実績		13	10		
達成度				118.2%	76.9%			

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 予定していた補助事業に加え緊急の保護事業についても補助を行い、文化財の保護保存に努めることができた。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性 (課題に対する改善等)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行計画の策定が必要。 計画的な予算執行を行うために、文化財保護保存事業に係る補助事業を把握し、毎年度見直しを行う。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	584 大知波峠廃寺保存整備事業										
総合計画	めざすまちの姿	7	歴史・伝統・文化を生かした次世代に継承するまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	7-①歴史の保存と継承				担当課	スポーツ・文化課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	06	目	文化振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)		文化財保護保存費			細事業名 (事業2)		大知波峠廃寺保存整備事業		
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	全市民				
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	—						
事業の目的	国指定史跡大知波峠廃寺跡の保護・保存を進め、貴重な文化遺産を次世代に継承する。										
事業の概要	国指定史跡大知波峠廃寺跡の維持管理										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	大知波峠廃寺跡の整備事業として職員による草刈1回、業者による草刈りを1回行った。									
課題	貴重な文化財であることを周知するために、効果的な保存整備策を講じることが課題である。									
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	事業費 (A)	当初予算額	423	千円	438	千円	438 千円			
		決算(見込)額	386	千円	404	千円	千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0 千円			
		一般財源	386	千円	404	千円	438 千円			
	人件費 (B)		1,093	千円	1,204	千円	1,393 千円			
	人工(職員数の内訳)		0.15	人	0.17	人	0.19 人			
トータルコスト (A) + (B)		1,479	千円	1,608	千円	1,831 千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
	草刈り回数	回	目標		2	2	2			
			実績		1	2	千円			
	達成度				50.0%	100.0%				

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>合計2回の草刈により、見学者には礎石などある程度確認できる状態が保たれている。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;">継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財としての価値の高さを周知するためにも保存整備を行う必要がある。 新居関跡保存整備事業が一段落する37年度以降に本格的な保存整備を目指す。
今後の取組内容(課題に対する改善等)	

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	585 新居関跡保存整備事業									
総合計画	めざますまちの姿	7	歴史・伝統・文化を生かした次世代に継承するまち			担当部	教育委員会事務局				
	基本計画【施策】	7-①歴史の保存と継承				担当課	スポーツ・文化課				
関連予算科目	一般	会計	10	款	教育費	06	項	社会教育費	06	目	文化振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	文化財保護保存費			細事業名 (事業2)	新居関跡保存整備事業				
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民					
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	平成37年度						
事業の目的	国特別史跡の新居関跡の整備を進め、江戸時代後期の新居関所の歴史的空間を再現し、後世に伝える。										
事業の概要	①新居関跡保存整備工事及び監理 ②新居関跡諸整備実施設計等作成業務										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①新居関跡保存整備工事 裏御門復元。 ②新居関跡防災設備基本計画 防災設備計画策定。										
課題	①保存整備に当たって、文化庁や県の各部署との調整が課題。 ②保存整備に必要な予算確保が課題。										
コスト			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	事業費 (A)	当初予算額	2,219	千円	6,232	千円	6,971	千円			
		決算(見込)額	2,027	千円	5,751	千円					
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	1,340	千円	3,193	千円					
		一般財源	687	千円	2,558	千円	6,971	千円			
	人件費 (B)		4,369	千円	6,021	千円	5,364	千円			
	人工(職員数の内訳)		0.60	人	0.83	人	0.73	人			
トータルコスト(A)+(B)		6,396	千円	11,772	千円	12,335	千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	整備委員会開催回数	回	目標		1	1					
			実績		1	1					
達成度				100.0%	100.0%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	特別史跡の保存・公開活用のため保存整備工事等を実施し、江戸時代の新居関所の景観を部分的ながらも復元することができた。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容(課題に対する改善等)	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁や県、関係機関との協議、調整を行い、計画の推進に努める。 ●最重要施策として37年度を目途に、船会所、女改め長屋、土蔵の復元整備を進める。